

霧島市「今週の一問」 中3国語 十月十二日
かごしまベーシック(中2)から



一 次の文章を読んであとの問いに答えよう。

【アルベルトは一年のうちの六日間を除くと、わたしより一つ年上だ。つまりわたしたちは六日間だけ、同じ年になる。】

アルベルトはボートの入り江に座って、彼のパパの長い釣り糸に小魚を引っ掛けている。

「小魚は先に殺すべきよ」

わたしは言う。

「まだ生きているうちに、釣り針を突き刺すなんてひどい！」

アルベルトは片方の肩をちよいと上げる。すこしばかり後ろめたい言いわけのようなもので、えさは生きている方が魚がよく食いつくという意味だ。彼は色あせたオーバーオールを着て、耳を両端から突き出すようにして、黒いひさし付きの帽子をかぶっている。

「あんたね、自分の背中に釣り糸を突き刺されたらどう思う？」

わたしは言う。

「釣り先につり下げられて、叫んで、逃げようともがきながら、

ぱくつと食べられるのをただ待っているのよ。さあ、どうなの！」

「魚は叫んだりしないよ」

アルベルトは言う。

「釣りというのは、いつだってこうさ」

「あんたは残酷よ！」

「ひどいことをするのね。もうあんたと口をききたくない」

わたしは叫ぶ。

彼は帽子のひさしの陰から、少し悲しげにわたしを見上げ、「まあ、落ち着いて」と言い、

また小魚を釣り針に引っ掛け始める。

わたしはすたすたと歩き去り、物置小屋の所で振り向いて叫んだ。

「わたしはあんたと同じ年なのよ。分かった？わたしは、あんたと、同じ年、なのよ！」

「そうだよ」

アルベルトが答える。

一 文中の傍線部は、どんな感じで朗読すればいいか。最も
適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 優しく落ち着いた感じで

イ 早口で勢いをつけた感じで

ウ 一語一語をはっきりさせる感じで

エ ゆっくりと呼びかける感じで

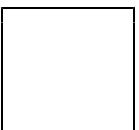
二 この文章中の「アルベルト」の人物像として、最も適当な
ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア もの静かでおとなしい

イ せっかちで怒りっぽい

ウ 気が強くて負けず嫌い

エ 大人びて落ち着いている



霧島市「今週の一問」 中3国語 十月十二日
かごしまベーションック(中2)から



一 次の文章を読んであとの問いに答えよう。

【アルベルトは一年のうちの六日間を除くと、わたしより一つ年上だ。つまりわたしたちは六日間だけ、同じ年になる。】

アルベルトはボートの入り江に座って、彼のパパの長い釣り糸に小魚を引っ掛けている。

「小魚は先に殺すべきよ」

わたしは言う。

「まだ生きているうちに、釣り針を突き刺すなんてひどい！」

アルベルトは片方の肩をちよいと上げる。すこしばかり後ろめたい言いわけのようなもので、えさは生きている方が魚がよく食いつくという意味だ。彼は色あせたオーバーオールを着て、耳を両端から突き出すようにして、黒いひさし付きの帽子をかぶっている。

「あんたね、自分の背中に釣り糸を突き刺されたらどう思う？」

わたしは言う。

「釣り先につり下げられて、叫んで、逃げようともがきながら、

ぱくつと食べられるのをただ待っているのよ。さあ、どうなの！」

「魚は叫んだりしないよ」

アルベルトは言う。

「釣りというのは、いつだってこうさ」

「あんたは残酷よ！」

「ひどいことをするのね。もうあんたと口をききたくない」

わたしは叫ぶ。

彼は帽子のひさしの陰から、少し悲しげにわたしを見上げ、「まあ、落ち着いて」と言い、

また小魚を釣り針に引っ掛け始める。

わたしはすたすたと歩き去り、物置小屋の所で振り向いて叫んだ。

「わたしはあんたと同じ年なのよ。分かった？わたしは、あんたと、同じ年、なのよ！」

「そうだよ」

アルベルトが答える。

一 文中の傍線部は、どんな感じで朗読すればいいか。最も
適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 優しく落ち着いた感じで

イ 早口で勢いをつけた感じで

ウ 一語一語をはっきりさせる感じで

エ ゆっくりと呼びかける感じで

二 この文章中の「アルベルト」の人物像として、最も適当な
ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア もの静かでおとなしい

イ せっかちで怒りっぽい

ウ 気が強くて負けず嫌い

エ 大人びて落ち着いている

エ

ウ